

# 仙台稲作情報 2019 (臨時号)

宮城県仙台農業改良普及センター TEL:022-275-8410 FAX:022-275-0296  
<http://www.pref.miyagi.jp/sd-nokai> E-mail: sdnokai@pref.miyagi.lg.jp

## 7月8日付けで宮城県全域に低温注意報が発表されました。

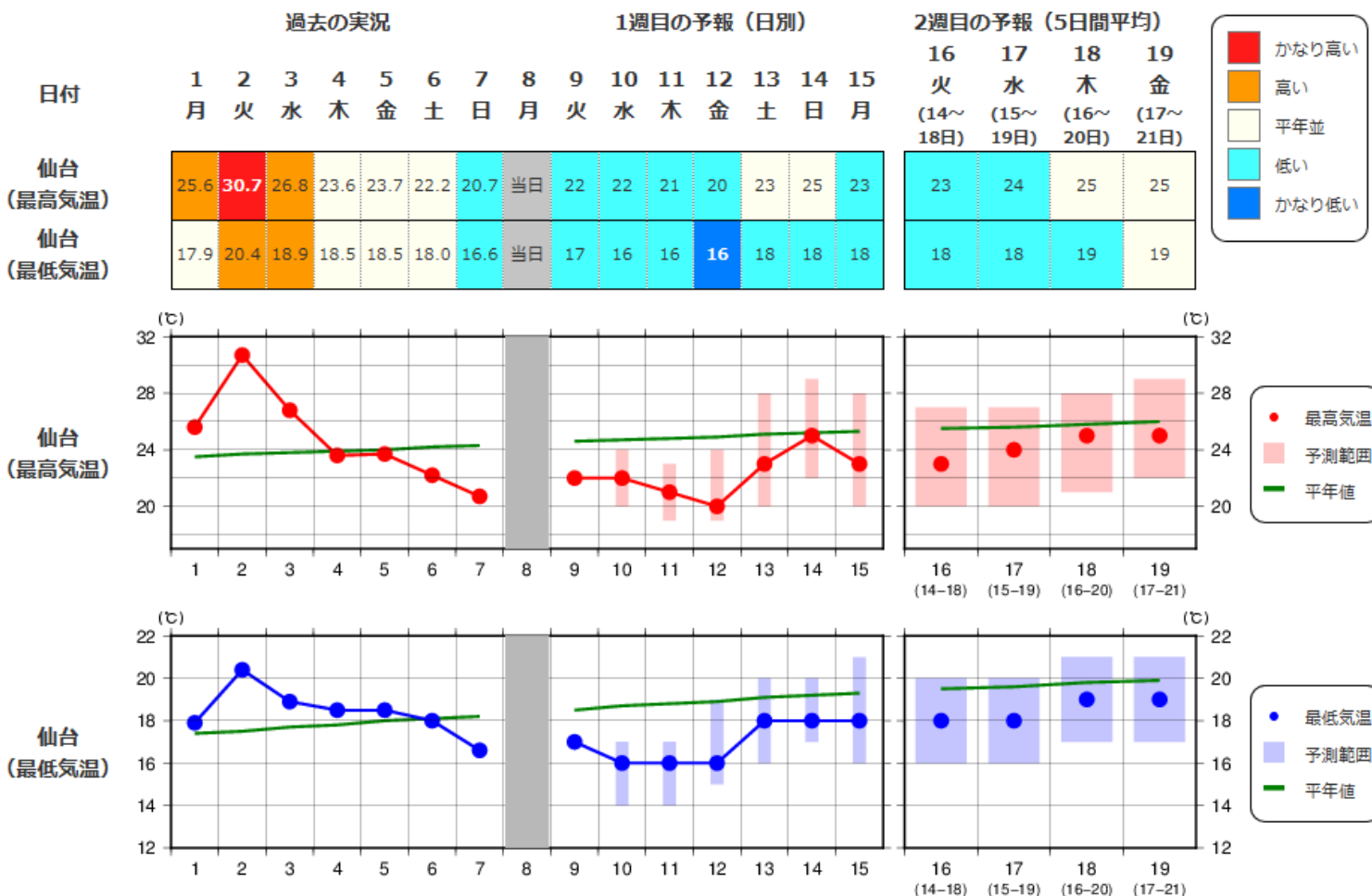
移植時期の早い水稲では、減数分裂期に低温に遭遇する危険があります。  
 深水管理を実施し、幼穂を低温から保護しましょう。

### 1. 気象予報

・低温に関する宮城県気象情報第1号 令和元年7月8日 仙台管区气象台発表  
 宮城県では、7月12日頃にかけて平均気温が平年よりかなり低い所がある見込みです。日平均気温が平年より4度前後低く、5月下旬並みとなる所もあるようです。農作物の管理などに注意してください。

・2週間気温予報 令和元年7月8日 仙台管区气象台発表

7月12日頃にかけて最低気温が17℃を下回ると予想されています。



### 2. 生育状況

- ・幼穂形成期に達している圃場が確認されています。
- ・北部平坦地域や仙台湾沿岸地域の移植が早かったほ場では、7月12日頃に減数分裂期に達する可能性があります。

表. 各地帯区分における生育ステージの予測

地帯区分	田植時期		幼穂形成期			減数分裂期			出穂期		
	始期	～ 終期	始期	～ 終期	始期	～ 終期	始期	～ 終期	始期	～ 終期	
北部平坦	5/2	～ 5/19	7/2	～ 7/11	7/12	～ 7/21	7/31	～ 8/7			
南部平坦	5/3	～ 5/19	7/2	～ 7/10	7/12	～ 7/20	7/31	～ 8/6			
仙台湾岸	5/3	～ 5/23	7/2	～ 7/14	7/12	～ 7/24	7/31	～ 8/9			
西部丘陵	5/7	～ 5/26	7/5	～ 7/16	7/15	～ 7/26	8/3	～ 8/12			
山間高冷	5/7	～ 5/27	7/13	～ 7/21	7/23	～ 7/31	8/12	～ 8/19			
三陸沿岸	5/7	～ 5/25	7/10	～ 7/10	7/20	～ 7/27	8/8	～ 8/14			

- ※ 1) 出穂期の平年値は過去10か年(平成21～30年)のうち、最も早い年と遅い年を除いた8か年平均  
 2) 7月3日までアメダスデータ実測値使用, 7月4日以降はアメダス平年値を使用  
 3) 対象品種「ひとめぼれ」「ササニシキ」「やまのしずく(山間高冷)」  
 4) 各生育ステージの幅は、各地帯区分別の田植始期～田植終期で予測

### 3. 低温時の水管理

- ・ 幼穂形成期から出穂開花期にかけて低温に遭遇すると、一穂粒数の減少や障害不稔、玄米の千粒重低下により収量が低下します。
- ・ 障害不稔を発生させる温度条件は、「最低気温 17℃以下」または「日平均気温 20℃以下」が数日続くような場合といわれています。
- ・ 幼穂形成期(出穂 20～25 日前)から減数分裂期(出穂 10～15 日前)までの低温時には水深 10cm 程度に湛水して下さい(前歴深水)。この前歴深水と減数分裂期の深水管理を組み合わせると被害軽減効果が大きくなります。
- ・ 減数分裂期の低温時の深水管理では、17～20cm の水深が必要となります。この水深が確保できない場合でも、無風状態であれば、水面上の気温は 1～2℃高くなることから、可能な限り深水に努めることで被害を軽減することができます。
- ・ 水田水温より用水温が低い場合、できるだけ水田水温が下がらないかんがい法を行います。
  - 例) ・ 温水溜池、温水チューブ等により用水温を高めます。
  - ・ ザリガニ、ネズミ穴を修繕し、漏水を少なくして、かん水量を最小限にします。
  - ・ 早朝または夜間にかんがいし水田水温を下げないようにします。